

1. 第9回施工技術委員会 意見に対する対応

「第9回浅川ダム施工技術委員会」は、平成27年9月9日（水）浅川ダム建設工事現場及び長野市立浅川公民館において開催され、現地調査及び会議が行われた。

表 1.1.1 第9回施工技術委員会 意見に対する対応

区分	項目	第9回施工委員会での意見 (平成27年9月9日(水))		今回の対応	掲載ページ
			第9回資料 掲載ページ		
1. 資料に関すること	全体工程	当初の計画工程と実施工程を比較する必要がある。	P1	実施工程表に、主要工種の計画工程を併記した。	P3
	カーテングラウチング	出来高確認のためにセメント量に着目して再度データを精査し確認した方がよい。	P72、P73	右岸深部については、セメントミルク注入量で整理した。	P39～P41
		規定量中断を行った箇所のパターンを整理し明記すること。ルジオン値の記載方法を修正すること	P70～P91	右岸深部の岩盤状態を踏まえたルジオン値に記載方法を修正した。	P38～P60
	試験湛水	水位計からプラムラインへの漏水がないことを確認しておくこと	—	水位計およびエレベータシャフト内に入り、クラックの有無を確認した。プラムラインカメラ観察を実施した。	P28～P29
		流水型ダムということに留意し、運用時の計測体制を整理すること。	—	管理移行後の計測体制を整理した。	P102～P103
		洪水時、ダム貯水位がどういう形で推移するか確認し、必要な設備を検討すること。	—	洪水の確率規模別のダム貯留状況を整理した。計測設備は、河川管理施設構造令に従い設備を設置した。	P86～P103
	安全管理	遠隔操作の重機のワイヤーの着色を検討すること。	—	斜面掘削における遠隔操作の重機においてワイヤーにピンクテープをつけ明示するなど安全対策を実施した。	P110
2. その他		関連工事も合わせて最後まで事故のないように安全管理に努めること。	—	施工時に留意していく。	

2. 進捗状況

2.1 工事の進捗状況

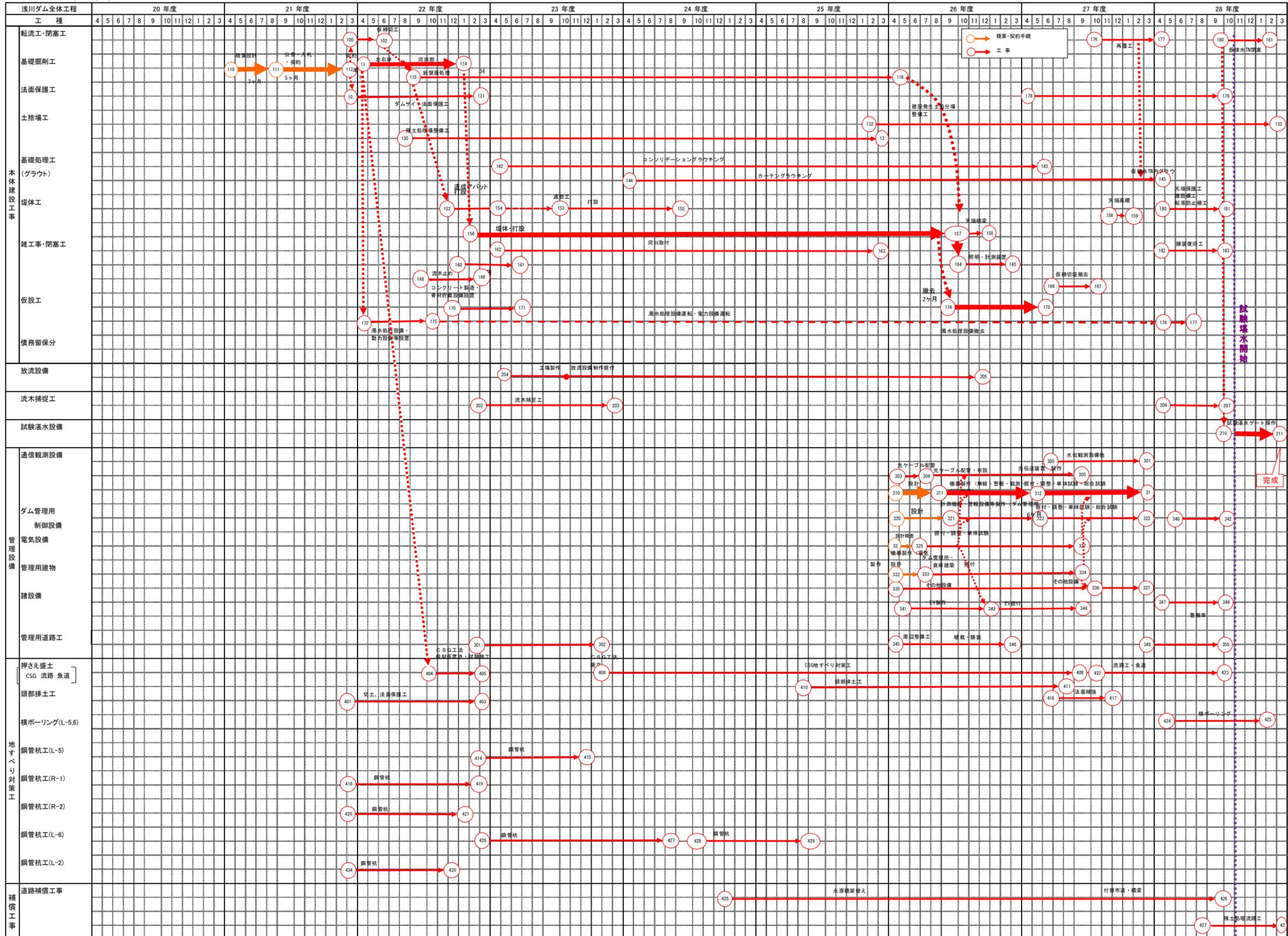
- ・掘削工：基礎掘削は、粗掘削・仕上げ掘削がすべて完了した。
- ・本体コンクリート工：本体コンクリートは、全堤体積 138,740 m³のコンクリートの打設が完了した。
- ・減勢工：減勢工のコンクリート打設は、4,490m³が完了した。
- ・CSG すべり対策工：58,279 m³の打設が完了した。
- ・基礎処理工：遮水性改良目的のコンソリデーショングラウチングは、全ブロック（0～11BL）が完了している。また、7BL の FV 断層周辺における、弱部補強目的のコンソリデーショングラウチングが完了している。
カーテングラウチングは、右岸側の R6BL の 202 孔およびチェック孔と R7BL のチェック孔以外が完了している。

表 2.1.1 概略工事数量進捗率一覧表（平成 28 年 1 月 12 日現在）

工 種	細 別	単 位	現契約 数 量	数 量	累計出来高	進捗率 (%)
基 礎 掘 削	土石掘削	m ³	177,900	177,900	177,900	100
	岩石掘削	m ³	56,640	56,640	56,640	100
	計	m ³	234,540	234,540	234,540	100
	岩盤面処理	m ²	13,580	13,580	13,580	100
堤 体 工	堤体コンクリート	m ³	138,700	138,740	138,740	100
	減勢工コンクリート	m ³	4,500	4,490	4,490	100
	計	m ³	143,200	143,230	143,230	100
	造成アバット工	m ³	6,211	6,211	6,211	100
基礎処理工	コンソリデーショングラウチング	m	4,320	4,320	4,320	100
	カーテングラウチング	m	7,590	7,965	7,525	94
	計	m	11,910	12,285	11,845	96
CSG 地すべり 対 策 工	掘削工	m ³	16,800	17,270	17,270	100
	CSG 工（河床部コンクリート 及びコンクリートを含む）	m ³	60,700	58,279	58,279	100

表 2.2.2 浅川ダム事業工程表

浅川ダム(長野県) アローダイアグラム



2.1 現在の状況

写真1 上流側から



写真2 右岸側の状況



写真3 左岸側の状況

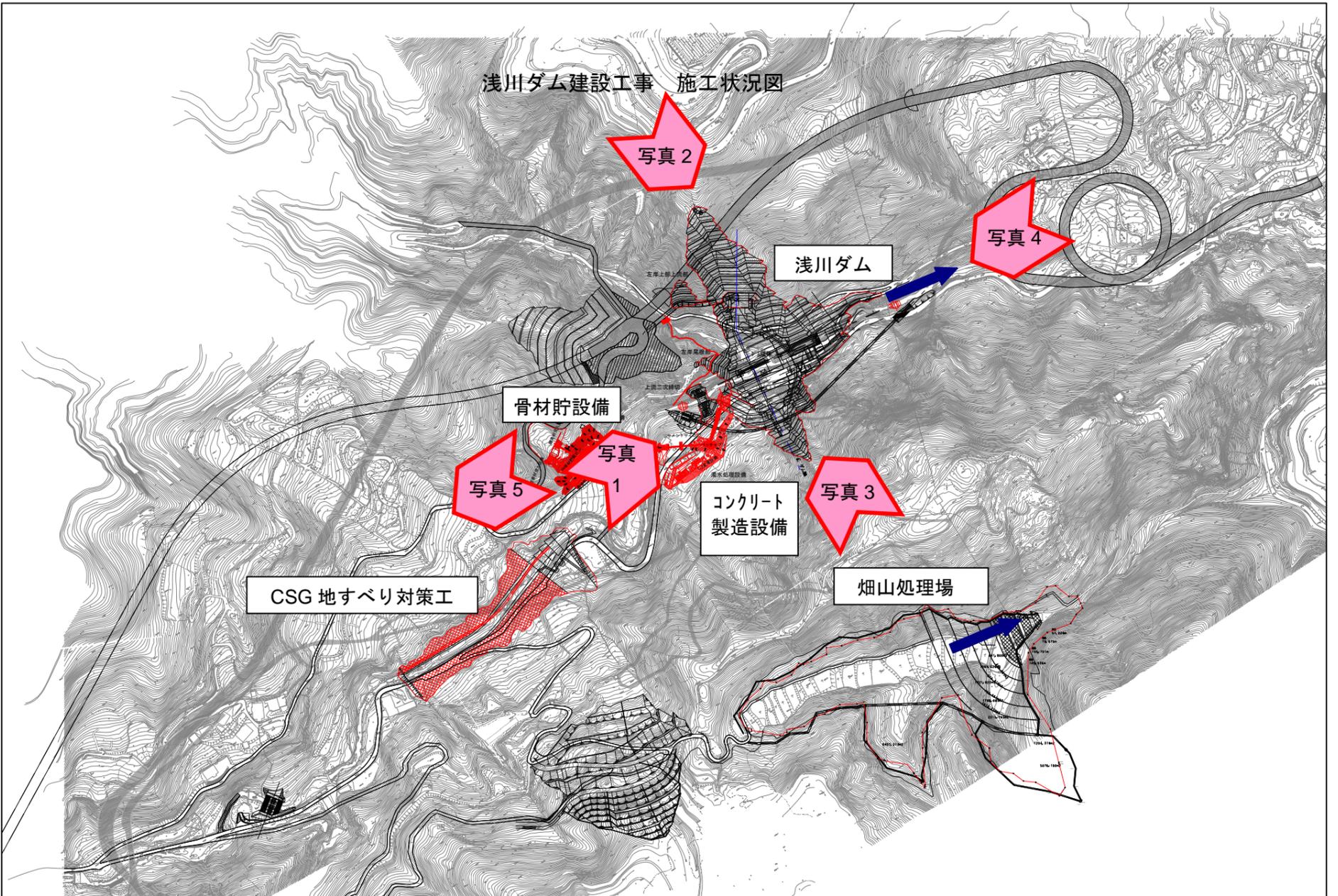


写真4 下流側から



写真5 CSG地滑り対策工下流から



撮影日:平成 27年 12月 23日